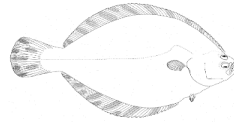


18. マツカワ

主な漁業と漁期

沿岸漁業（刺し網、定置網、
底建網、こぎ網）：4～12月
沖底漁業（常磐以北の太平洋）：1～4月

※現在、漁獲物のほとんどは、人工種苗放流によるものです。



北海道～常磐以北太平洋海域

生態

◆分布・回遊

北海道では大部分が太平洋海域で漁獲されますが、他海域でも若干漁獲があります。本州では主に常磐以北の太平洋沿岸に分布しています。分布水深は水深5～400mです。成熟の進行に伴い、北海道沿岸から産卵場がある常磐沖（福島・茨城県）まで南下し、産卵後は再び北海道沿岸へ北上します。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は2～4月で、盛期は3月です。
- ◎産卵場：本州常磐沖の水深250～300m、水温4～8℃の海域です。

◆成長・成熟

(4月時点)

	全長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
1歳	17	17	64	56
2歳	30	30	354	370
3歳	38	41	798	979
4歳	44	49	1,278	1,794
5歳	48	56	1,701	2,709
6歳	51	61	2,053	3,650
7歳		65		4,543
8歳		69		5,348

*) 2007～2018年の測定資料より

*) 加齢の基準日：4月1日

◎成熟年齢・全長

- ・オス：2歳から成熟を開始し、全長39cm以上、3歳以上で半数が成熟します。
- ・メス：3歳から成熟を開始し、全長54cm以上、4歳以上で半数が成熟します。

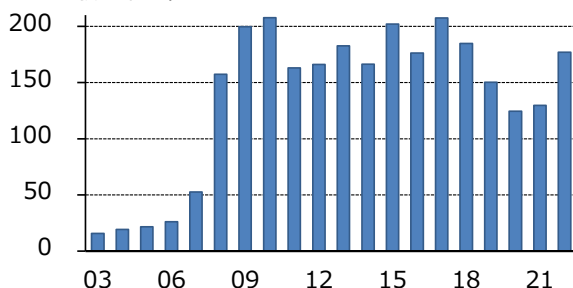
資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 1歳以上の資源重量

2022年度の漁獲量は177トンで前年より大幅に増加し資源水準は中水準と判断されました。2017年度の種苗生産不調により、漁獲量に落ち込みが見られていましたが、2018年度以降の放流は順調に行われています。一方で2歳魚の推定資源量が2017年度以前の水準に戻っていないことから今後の資源動向は横ばいと判断されました。本種は放流された資源を直接利用している状態のため、自然再生産の増大が今後の課題と考えられます。

漁獲量 (トン)



2022年度
の水準



中水準

2023年度
の動向



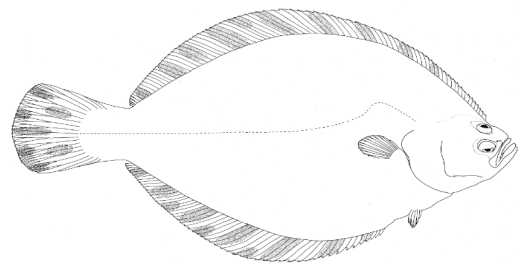
横ばい

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

○許可等の条件（自主規制含む）等

えりも以西では、共同漁業権行使規則や海区委員会指示、資源管理協定により、全長35センチ未満の漁獲があった場合は、海中還元することを定めています。また、えりも以东でも、十勝及び釧路海域で自主的に同様の措置を行っています。



☆資源の有効利用のため、現状の取り組みの継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0143-22-2327